



吉村
181

過刻を昇堂の妨げ

付多 儲鐵道作業局

廢せられ 新廳設置

舊局長より廢官退職

の者致かす 同姓

茂孝のも罷りられ

一人を一人こもと為す

然る者 既に 欠おは

る あり 何よか 三十銀行

入 建 ち 入 入 入



懇請の致す然
茂孝親族の平生の
却て強く要求は
事わりの事情も
事素諸般の世話
君を以て依頼申上
度くは願ひ申上
片も後みと有物
事もまゝお願ひ
以て懇縮汗顔
何卒事情の
諒望のやまの工
丈茂孝の適当す
揚和友の得る
以加力請ふは懇願
仕へるも必
出款願ひ

仕え 欠くも必らず

出 歎 願 為 事

と け 間 異 也

也 願 親 族 也

自分 は 勞 せ ず

尊 兄 の よ 打 掛

申 上 如 き 不 徳 義

の 事 為 せ ず 心 得

先 祖 祭 日 十 三 日

先 祖 の 祭 日 十 三 日

前 日 歸 縣 せ ず

何 分 滞 留 の 故 也

乏 しく 極 め 挂 念

仕 事 向 前 後 を 願 也

の 願 せ ず 此 段 切 請

願 仕 事 也 相 省

前々歸縣せしむ

何分滞交の條白も

乏しく極めし挂念

仕向前後と解らる

の悔なく此段切請

願仕も也 相省

三月三十日夜

直彬

大隈仁兄研北

尚々東人お歸き候中
執事宛書付候様
も亦この中書見上候